【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成31年4月4日(2019.4.4)

【公表番号】特表2018-513164(P2018-513164A)
【公表日】平成30年5月24日(2018.5.24)
【年通号数】公開・登録公報2018-019
【出願番号】特願2017-554457(P2017-554457)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　8/97　(2017.01)
Ａ６１Ｑ　19/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　8/97
Ａ６１Ｑ　19/08

【手続補正書】
【提出日】平成31年2月22日(2019.2.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
大気汚染の皮膚に対する悪影響からの皮膚の保護、及び／又は大気汚染によって誘導される皮膚症状の修復のための、ディオスピロス・メスピリフォルミス抽出物又はそれを含む組成物の、美容的使用。
【請求項２】
前記大気汚染が、酸化剤、一酸化炭素、炭化水素及び溶媒、二酸化硫黄、金属、ホルムアルデヒド、タバコの煙、浮遊する粒子状物質又は細塵、並びに電磁波から選択される、屋内又は屋外の汚染物質の存在に起因することを特徴とする、請求項１に記載の使用。
【請求項３】
以下の活性：
皮膚及び角質層の結合の増加、並びに皮膚のバリア機能の改善、
ケラチノサイト増殖及び分化プロセスのホメオスタシスの回復、
皮膚マトリクスの回復、
皮膚の保湿の予防及び回復、
皮膚細胞の結合の改善、
細胞間情報伝達の改善、又は
真皮表皮接合部の回復、
による、汚染によって誘導される劣化の予防及び／又は皮膚障害の回復のための、請求項１又は２に記載の使用。
【請求項４】
汚染によって引き起こされる皮膚老化の予防及び／又は補正のための、請求項１～３のいずれか一項に記載の使用。
【請求項５】
前記抽出物が前記植物の地上部の粉砕と、水性溶媒及び／又は有機溶媒による抽出とによって得られることを特徴とする、請求項１～４のいずれか一項に記載の使用。
【請求項６】
前記組成物が０．０１重量％～１０重量％の前記抽出物を含むことを特徴とする、請求

項１～５のいずれか一項に記載の使用。
【請求項７】
前記組成物が、軟化剤、染料、皮膜形成活性剤、界面活性剤、香料、防腐剤、乳化剤、油、グリコール、ビタミン、又はＵＶ遮断剤を含むことを特徴とする、請求項１～６のいずれか一項に記載の使用。
【請求項８】
前記組成物が、ゲル、ローション、クリーム、エマルジョン、ミルク、スプレーの形態であることを特徴とする、請求項１～７のいずれか一項に記載の使用。
【請求項９】
前記抽出物をサニキュラ・エウロペア抽出物と組み合わせたことを特徴とする、請求項１～８のいずれか一項に記載の使用。
【請求項１０】
前記サニキュラ・エウロペア抽出物が、該植物の地上部の水溶性抽出物であることを特徴とする、請求項９に記載の使用。
【請求項１１】
前記抽出物又は前記抽出物の組み合わせを、フルセラリア・ルンブリカリス抽出物と組み合わせたことを特徴とする、請求項１～１０のいずれか一項に記載の使用。
【請求項１２】
前記フルセラリア・ルンブリカリス抽出物が海塩で富化したオリゴファーセレランを含むことを特徴とする、請求項１１に記載の使用。
【請求項１３】
前記抽出物又は前記抽出物の組み合わせを、ラプサナ・コンムニス抽出物と組み合わせたことを特徴とする、請求項１～１２のいずれか一項に記載の使用。
【請求項１４】
前記ラプサナ・コンムニス抽出物が、該植物の地上部の水性グリコールの抽出によって得られることを特徴とする、請求項１３に記載の使用。
【請求項１５】
適量の、
ディオスピロス・メスピリフォルミス抽出物を、単独で又はサニキュラ・エウロペア抽出物、及び／又はフルセラリア・ルンブリカリス抽出物、及び／又はラプサナ・コンムニス抽出物と組み合わせて、又は
前記抽出物若しくは前記組み合わせの１つを含む組成物
を皮膚に適用することを特徴とする、皮膚に対する汚染の影響を抑制する、及びそれを予防する美容ケア方法。